

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2年	選択
担当教員			
吉田 美恵子・戸田 恵理子			

講義概要	<p>①保育所・認定こども園の役割や機能について理解する 養護と教育が一体となつて行われる保育について理解する 保育所・認定こども園の社会的役割と責任について理解する</p> <p>②観察に基づいた保育を理解する 子どもの心身の状態や活動の観察方法を学ぶ 保育士等の動きや実践の観察を行う保育所の生活の流れや展開を把握する</p> <p>③環境を通して行う保育や、生活や遊びを通して総合的に行う保育を理解する 入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援について学ぶ 地域社会とのこまやかな連携の必要性を理解する コミュニケーション能力の重要性を理解する</p> <p>④保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程を理解する 子どもの姿を理解した指導案を作成する 作成した指導計画に基づく保育実践と評価を行う</p> <p>⑤多様な保育の展開と保育士の業務を理解する 多様な保育の展開と保育士の職業倫理を理解する 保育士としての自己課題を明確にする</p>
授業計画	<p>1 保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の明確化 保育実習Ⅰにおける反省と自己課題の設定 学習課題 復習： 予習：</p> <p>2 子どもの理解① 乳幼児の特性をふまえた保育について 学習課題 復習： 予習：</p> <p>3 子どもの理解② 子どもの個人差に配慮した保育について</p> <p>4 子どもの保育について（乳幼児） 子どもの最善の利益を配慮した保育について 学習課題 復習： 予習：</p> <p>5 子どもの保育について（3歳以上児） 子どもの最善の利益を配慮した保育について 学習課題 復習： 予習：</p> <p>6 子どもの保育と保護者支援について 子どもの保護者との関わり方について 学習課題 復習： 予習：</p> <p>7 保育所実習先の理解と実習内容について 子どもへの対応方法を理解 学習課題 復習： 予習：</p> <p>8 保育所実習先の理解と実習内容について 具体的な保育の方法とその理解（事例検討） 学習課題 復習： 予習：</p> <p>9 保育実技の発表と反省・評価① 指導案立案・実践・振り返り① 学習課題 復習： 予習：</p> <p>10 保育実技の発表と反省・評価② 指導案立案・実践・振り返り② 学習課題 復習： 予習：</p> <p>11 保育士の業務内容や職業倫理についての理解 保育所及び保育士の役割や機能の理解を深める 学習課題 復習： 予習：</p> <p>12 保育士の業務内容や職業倫理についての理解</p>

	<p>具体的な実践に結び付けて理解する</p> <p>学習課題 復習： 予習：</p> <p>1 3 子どもの発達に応じた保育の計画・実践① 保育実践・評価と具体的課題の明確化①</p> <p>学習課題 復習： 予習：</p> <p>1 4 子どもの発達に応じた保育の計画・実践② 保育実践・評価と具体的課題の明確化②</p> <p>学習課題 復習： 予習：</p> <p>1 5 帰校日指導 実習での課題の共有と、自己課題の設定</p> <p>学習課題 復習： 予習：</p>
授業形態	演習（集中講義）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や内容理解をもとに、さらに保育所保育士養成に必要な知識や知恵や指導技術を身につける。また、巡回指導による指導内容を踏まえ自己評価を行い、新たな具体的課題や学習目標を明確にする。</p> <p>①保育所・認定こども園の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める ③既習の強化や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について統合的に学ぶ ④保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み理解を深める ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解し、保育士としての自己課題を明確にする</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：「教育・保育実習のデザイン」 東京家政大学『教育・保育実習のデザイン』研究会 編 萌 文書林 その他：『保育所保育指針』 『保育所実習日誌』 授業時必携</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	他の授業・会議等以外は対応可能
備考・メッセージ	<p>レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守する 授業で毎時間配布するプリントは、実習ファイルに保管し随時活用する 次回の授業内容を確認し、保育実践に関する資料の収集及び保育実践に関する準備に臨む</p>